学校番号	３０１８

令和８年度　理科

教科	理科	科目	理科演習Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	2026 大学入学共通テスト攻略問題集ビーライン化学基礎						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目の名前は「理科演習」となっていますが、A では主に「化学基礎」の内容を扱います。
・はじめのうちは１年で学習したことの復習が中心で、後半は過去問を中心に実践的な内容になっていきます。
・問題演習が中心になる授業なので、教材の予習・復習が不可欠となります。
・来年１月の本番を受験した後に「この授業を受けておいてよかった」と言ってもらえるような中身の濃い授業を目指します。「面白い理科」の授業は求めないでください。とはいえ、たまには息抜きを兼ねて、簡単な実験も取り入れたいと思っています。

2　学習の到達目標

・１年次に学んだ化学基礎について、演習を通じて知識の定着を図る。
・実際に大学入試問題に取り組んだり、観察や実験を行うことで、科目の全内容を横断した思考力や判断力を身につける。
・基本的な概念や原理、法則を理解し、科学的な見解や考え方を身につけることにより、より発展的な内容について探求する能力と態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	学習済みの内容をさらに強化して入試問題に対応できる学力を身につける。必要な知識は１年間しっかり勉強すれば自ずと備わってくるはずである。	入試問題は基礎基本ばかりではなく、応用力が試されることもある。そこで、多くの過去問題や模擬試験問題を利用して、物事をじっくり考える習慣づけを行う。	基本に立ち返り、化学の内容に関心をもち、科学的に自然現象を見つめる探求心をもって入試問題に取り組む態度を重視する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	期間	学習内容	評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		1年で学習した内容を見直すとともに、大学入学共通テストの問題を徹底的に分析し、類似の問題を副教材から選んで解答する。	a:学習内容の十分な理解 b:問題形式への「慣れ」 c:授業への積極的な参加	小テスト	小テスト	提出プリント
2学期	前半	副教材の練習問題や大学入学共通テストの過去問に取り組み、応用問題にも対応できるようにしていく。	a:過去問を中心に出題パターンを身につける。 b:小問ごとの解答時間の配分を最適化するための練習を積む。 c:授業への積極的な参加	小テスト	小テスト	提出プリント
	後半	同上	同上	小テスト	小テスト	提出プリント
3学期	入試本番直前	同上	同上	小テスト	小テスト	提出プリント
	入試後	1年でできなかったいくつかの実験を行う。	a:実験に関する知識を獲得する。 b:実験内容を深く考察する。 c:授業への積極的な参加	レポート	レポート	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度